

会 議 録

会 議 名	第４回山陽小野田市GX推進協議会	
開 催 日 時	令和７年１１月１９日(水曜日)１４時００分から１４時４５分	
開 催 場 所	Aスクエア会議室２	
出 席 者	梅田会長、高橋副会長、塩田副会長、竹永委員、池上委員、中村委員、堀委員、有田委員、吉長委員、西岡委員	
欠 席 者	なし	委 員 数 １０名 出席者数 １０名
オブザーバー	山口県産業労働部産業脱炭素化推進室 岡田主任技師	
事務担当課及び職員	(市民部環境課) 山本部次長兼課長、湯浅主幹、原野主査、佐々木技師 (経済部商工労働課) 工藤部次長兼課長、中村主幹、河口主事	
会 議 次 第	１ 開会 ２ 会長挨拶 ３ 山陽小野田市GX推進アクションプラン（素案）について ４ 次回の会議日程等について ５ その他 ６ 閉会	
会 議 結 果	３ 山陽小野田市GX推進アクションプラン（素案）について （竹永委員） ・アクションプランがこれだけ長いと読むのが大変なので、そういう人のために要旨全体をA４サイズ１枚にまとめたものがあるといいのではないか。 ・評価指標の進捗管理の変化が読み取れない。２０２５年度から２０３０年度までについて記載がなく分かりにくいので文章で記載すると分かりやすくなる。 （事務局） ・要旨の作成は最終的な完成版ができた後に、概要版として作成し、委員の皆様に見ていただくような形をとりたい。 ・今後は評価指標の実績、昨年度の取組、そして今年度どのような取組をおこなうかを報告したうえで、御助言や御意見を賜るような会議として進めていきたいと考えている。	

(塩田副会長)

・アクションプランの位置づけでこの計画の下に行動マニュアルのようなものがあるか教えていただきたい。

(事務局)

・この計画に関する個別計画は想定していない。行政で行う事業については市の実施計画や個別計画が担当部署にある。複数の部署にまたがる事業については、ワーキングチームなど実施計画に盛り込んでいくことはあると思う。

5 その他（意見交換）

(塩田副会長)

・立派な素案ができたと思っている。私は地球温暖化対策地域協議会で様々な活動をしている。目標達成のために今まで以上に協力しながら活動し、地球温暖化対策を推進していければと思っている。

(竹永委員)

・素案の中で事業者、行政、市民がこの取組に対して具体的に何をすればいいのか分かりやすい形で出てくると、はっきりイメージができて良いものになると思っている。

(池上委員)

・度重なる修正に対応していただき、かつ補足説明等も追加され非常に分かりやすい資料となっている。大学としてこれからどう取り組んでいくのか。会議所を中心として、何か共同研究や御要望があれば、窓口で伝えてほしい。研究活動に関しては直近、12月開催のGX交流会でCO₂の有効活用について紹介するのでぜひ参加してほしい。

(中村委員)

・このアクションプランを企業の皆さんに配布し、周知をすることが役割だと思っている。また、事業所から頂いた御意見等がございましたら、市やこの協議会の場で発表させていただくことも役割であり、今からしっかりと事業者の皆さんには周知をしていきたいと考えている。

(堀委員)

・事業所さんにどれだけ情報共有できるかどうか、お知らせをするなど周知していくことが仕事だと思っている。こういうイベントがあるとかそこから興味をもっていただくための情報の橋渡しの役割を担っていきたいと考えている。

(西岡委員)

・消費者の立場より微力ではあるが、SDGsにつながるエシカル商品や環境に対して市民に再度啓発していきたいと思う。今までも啓発してきたが、これからも一生懸命頑張りたい。

(吉長委員)

・個人でできることがあるとすれば、本当に小さなことだが、コツコツとみんなで力を合わせて取り組むこと。出前講座などで教えてもらったことを皆さんと一緒に話し合いながら、少しでも協力できたらと思っている。

(有田委員)

・最近、学校で出前講座を行っているが、子供たちは出前講座で学習したことをそれほど覚えていない。学校でも照明が一番電力を消費するから蛍光灯をLEDになっていくなどを紹介して地球温暖化対策の案を広めていくことが大切。そうすることで身近なところからみんなが少しずつ取り組み、CO₂を削減することで目標達成していかないと、異常気象による影響を受けてしまう。そうならないために私たちも努力していけるようにそれぞれ進んでいきたいと思う。

(高橋副会長)

・全ての項目で行政が関わっていくが、大事なのは市民の皆様そして事業者の皆様と少しでも意識を持ち、具体的なことを一つ一つ進めていくことが非常に重要だと思う。

(梅田会長)

・重要なのはこのアクションプランが絵に描いた餅にならないようにしっかりと実のあるものにしていくことだと思う。その

ために1番重要なのは意識改革、これができないと理屈を説明してもなかなか物事というのは進まない。市だけではなく皆様の知恵を拝借しながら稼働すれば、市民と事業者、行政が協力し、いい方向に実現していければと思っている。また、これからも委員会を開催した際には、知恵をお借りしたいと思う。

(岡田主任技師)

・県ではGX戦略地域を選定するために色々と検討を進めており、先ほど資料の中にもあったが、コンビナート会議の中でも企業さんは活発にGXについて検討を進められている。県だけではやはり進めることはできないので、周辺自治体、山陽小野田市さん含めて、御協力頂ければと思う。